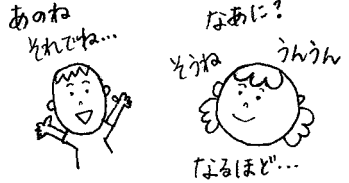


幼児にとっての「学び」とは

幼児はどのようなことを学んでいるの？

幼児は遊びや生活のあらゆる場面で、以下のようなことを学んでいます。

様々な人やものに関わる中で
 好奇心や探求心をもつこと



言葉を獲得すること



基本的な生活習慣を身に付けること



遊びながら体を動かす心地よさを味わうこと



目的に向かって挑戦し、多少の困難を乗り越えた時の達成感や自己肯定感を味わうこと



試したり工夫したりしながら、
 物の特性や物事の法則性に気付くこと



創造的な思考力や表現力を身に付けていくこと



幼児期は、心身の発達の著しい時期で、自我の芽生え、身辺の自立、言葉の獲得など、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。基本的な生活習慣を身に付け、自ら主体的に人やものとかかわるなど、幼児期にふさわしい経験を十分にできるようにすることが重要です。